

科目名	ソーシャルワーク実習指導 1 (社会福祉士必修)		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022 年度 後期	単位数	1
担当教員	木村 淳也、久保 美由紀		
内容および計画	[授業の目的・ねらい] 1. ソーシャルワーク実習に向けて、社会福祉各領域の施設・機関、対象、課題を関連させながら実践的に理解する。 2. 実習目標の設定や実習記録等、実習の準備を進める。		
1	オリエンテーション		
2	ソーシャルワーク実習の意義・目的・方法・形態①		
3	ソーシャルワーク実習の意義・目的・方法・形態②		
4	実習を行う実習分野の理解 (福祉事務所、児童相談所) ①		
5	実習を行う実習分野の理解 (福祉事務所、児童相談所) ②		
6	実習を行う実習分野の理解 (児童福祉・高齢者福祉施設) ①		
7	実習を行う実習分野の理解 (児童福祉・高齢者福祉施設) ②		
8	実習を行う実習分野の理解 (障害者福祉施設、医療機関、社会福祉協議会) ①		
9	実習を行う実習分野の理解 (障害者福祉施設、医療機関、社会福祉協議会) ②		
10	実習施設・機関、実習目標に関して (福祉事務所、児童相談所)		
11	実習施設・機関、実習目標に関して (児童福祉・高齢者福祉施設)		
12	実習施設・機関、実習目標に関して (障害者福祉施設、医療機関、社会福祉協議会)		
13	ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導および集団指導の意義①		
14	ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導および集団指導の意義②		
15	ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導および集団指導の意義③ (前期実習指導の総括を含む)		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
特にテキストの指定はしない。必要な資料は授業時に配布する。			
参考書			
成績評価			
	評価方法		割合(%)
	レポート		80
	授業参画度		20
レポート、授業参画度に加え、実習生としての態度、意欲等を含めての総合評価とする。			
学習到達目標	ソーシャルワーク実習の準備を進め、個別の実習事前学習を行う。また、ソーシャルワークの各領域の、現状と課題を理解する。		

先修条件	
実務経験	<p>実務経験有り：</p> <p>福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>等、相談援助業務の経験を活かしソーシャルワーク関連科目を担当している。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞などで身近な福祉に関する課題について知識を得るよう心がけてください。</li> <li>・授業では自分の意見を大切にすると共に、他者の意見も大切にすよう心がけてください。</li> <li>・参考資料、配布資料等を用いて、復習、予習を心がけてください。</li> </ul>